

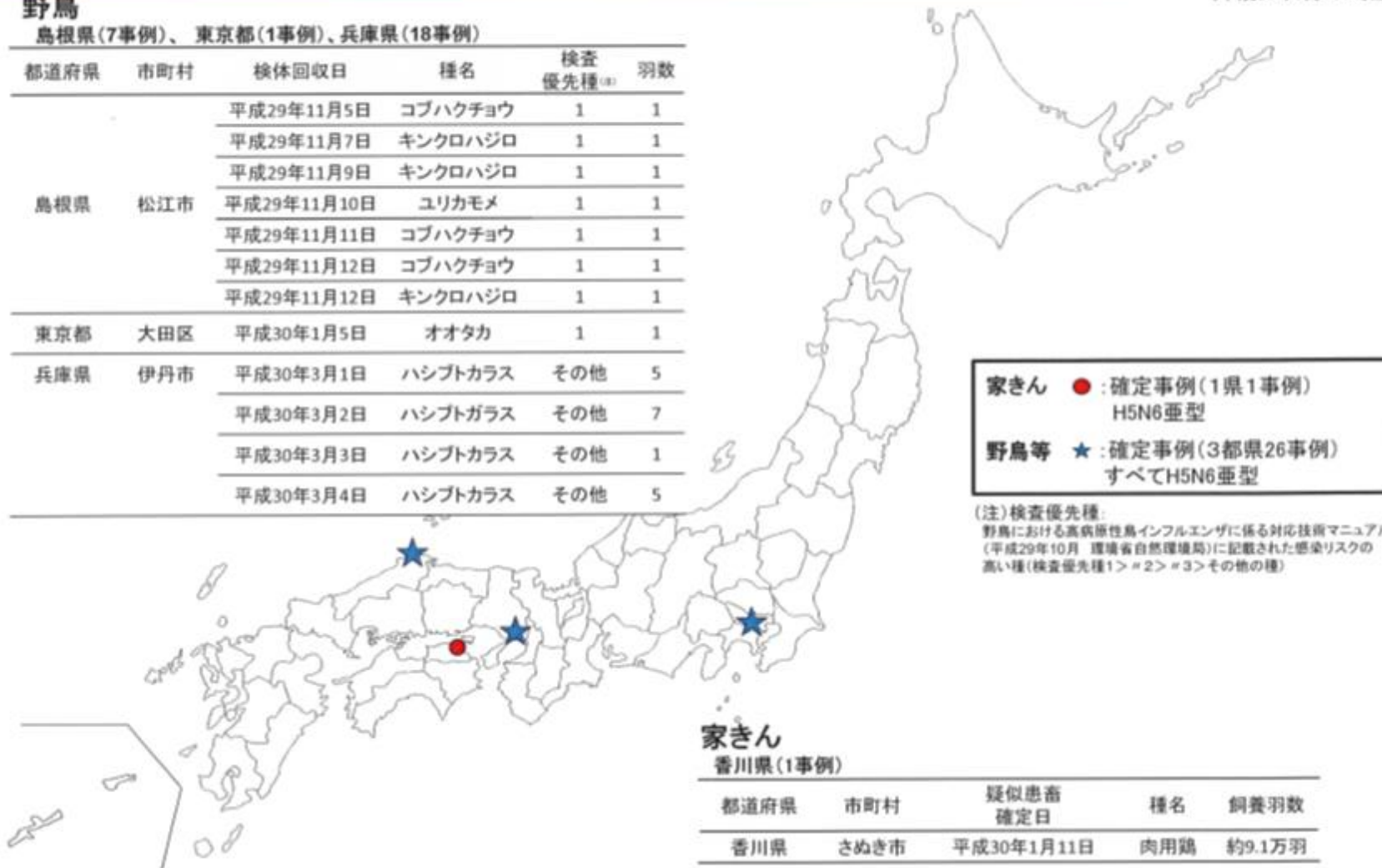
国内における高病原性鳥インフルエンザの発生状況(平成29年11月以降)

(平成30年3月9日時点)

野鳥

鳥根県(7事例)、東京都(1事例)、兵庫県(18事例)

都道府県	市町村	検体回収日	種名	検査優先種 ^(注)	羽数
鳥根県	松江市	平成29年11月5日	コブハクチョウ	1	1
		平成29年11月7日	キンクロハジロ	1	1
		平成29年11月9日	キンクロハジロ	1	1
		平成29年11月10日	ユリカモメ	1	1
		平成29年11月11日	コブハクチョウ	1	1
		平成29年11月12日	コブハクチョウ	1	1
		平成29年11月12日	キンクロハジロ	1	1
東京都	大田区	平成30年1月5日	オオタカ	1	1
兵庫県	伊丹市	平成30年3月1日	ハシブトカラス	その他	5
		平成30年3月2日	ハシブトガラス	その他	7
		平成30年3月3日	ハシブトカラス	その他	1
		平成30年3月4日	ハシブトカラス	その他	5



家きん ● : 確定事例(1県1事例)
H5N6亜型

野鳥等 ★ : 確定事例(3都県26事例)
すべてH5N6亜型

(注)検査優先種:
野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル
(平成29年10月 環境省自然環境局)に記載された感染リスクの
高い種(検査優先種1>#2>#3>その他の種)

家きん

香川県(1事例)

都道府県	市町村	疑似患者 確定日	種名	飼養羽数
香川県	さぬき市	平成30年1月11日	肉用鶏	約9.1万羽

平成28-29年シーズンにおける高病原性鳥インフルエンザの発生について

発生概要(全9道県 12農場 約166.7万羽)				農林水産省 対策本部	防疫対応状況(予定は最短の場合)				
事例	発生日 ^{注1}	発生場所	飼養羽数 ^{注2} /種別		措置完了日(0日目) ~ 10日目		21日目		
					防疫措置 (殺処分、消毒等)	清浄性 確認検査	搬出制限区域 解除	移動制限区域 解除	
①	青森県	2016年 11月28日	青森市	約1.8万羽 あひる	11月28日	11月29日開始 12月5日完了	12月16日開始 12月21日完了	12月21日解除	12月27日解除
②	新潟県	2016年 11月29日	関川村	約31万羽 採卵鶏	11月28日	11月29日開始 12月5日完了	12月16日開始 12月20日完了	12月20日解除	12月27日解除
③	新潟県	2016年 11月30日	上越市	約24万羽 採卵鶏	11月30日	12月1日開始 12月6日完了	12月17日開始 12月21日完了	12月21日解除	12月28日解除
④	青森県	2016年 12月2日※	青森市	約4,700羽 あひる	12月2日 (持ち回り)	12月2日開始 12月5日完了	12月16日開始 12月21日完了	12月21日解除	12月27日解除
⑤	北海道	2016年 12月16日	清水町	約28万羽 採卵鶏	12月16日	12月17日開始 12月24日完了	1月4日開始 1月10日完了	1月10日解除	1月15日解除
⑥	宮崎県	2016年 12月19日	川南町	約12万羽 肉用鶏	12月19日	12月20日開始 12月21日完了	1月1日開始 1月5日完了	1月5日解除	1月12日解除
⑦	熊本県	2016年 12月27日	南関町	約9.2万羽 採卵鶏	12月26日 (持ち回り)	12月27日開始 12月28日完了	1月8日開始 1月12日完了	1月12日解除	1月19日解除
⑧	岐阜県	2017年 1月14日	山泉市	約8.1万羽 採卵鶏	1月14日	1月14日開始 1月17日完了	1月28日開始 2月1日完了	2月1日解除	2月8日解除
⑨	宮崎県	2017年 1月24日	木城町	約17万羽 肉用鶏	1月24日	1月25日開始 1月26日完了	2月6日開始 2月10日完了	2月10日解除	2月17日解除
⑩	佐賀県	2017年 2月4日	江北町	約7.1万羽 肉用種鶏	2月4日 (持ち回り)	2月4日開始 2月6日完了	2月17日開始 2月21日完了	2月21日解除	2月28日解除
⑪	宮城県	2017年 3月24日	栗原市	約22万羽 採卵鶏	3月23日	3月24日開始 3月27日完了	4月7日開始 4月11日完了	4月11日解除	4月18日解除
⑫	千葉県	2017年 3月24日	旭市	約6.2万羽 採卵鶏	3月23日	3月24日開始 3月27日完了	4月7日開始 4月11日完了	4月11日解除	4月18日解除

防疫対応終了

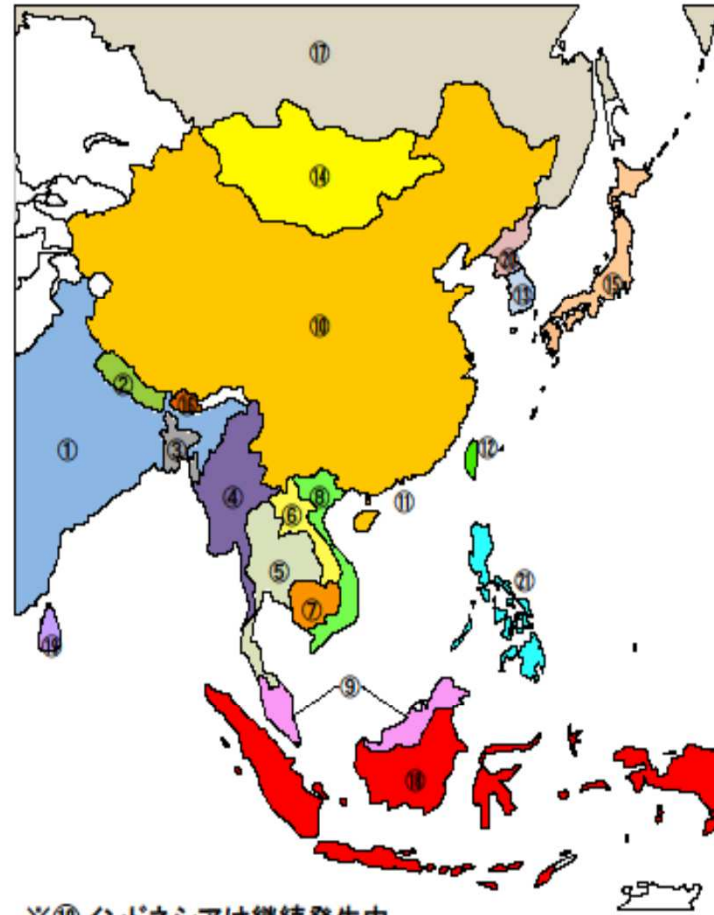
注1) 遺伝子検査がH5亜型陽性又は簡易検査が陽性※により、疑似患畜と判定した日。
注2) 飼養羽数は、患畜、疑似患畜の羽数。(四捨五入しており、内訳の合計は総数に合わない。)



平成29年4月18日0時現在

アジアにおける高病原性及び低病原性鳥インフルエンザの発生状況

ASIAに蔓延しつつある鳥インフルエンザウイルスを早期に撲滅し、安心安全な環境を構築するため、最新の技術導入を推奨します。



※⑩インドネシアは継続発生中

	①インド	②ネパール	③バングラデシュ	④ミャンマー	⑤タイ	⑥ラオス	⑦カンボジア	⑧ベトナム	⑨マレーシア	⑩中国	⑪香港	⑫台湾	⑬韓国	⑭モンゴル	⑮日本	⑯ブータン	⑰ロシア	⑱北朝鮮	⑳フィリピン	
2014年	●	●	●							●	●	●	●		●		●			●
2015年	●	●	●							●	●	●	●		●		●			
2016年	1月	●																		
	2月																			
	3月																			
	4月																			
	5月	●																		
	6月																			
	7月																			
	8月																			
	9月																			
	10月	●																		
	11月	●																		
	12月	●																		
2017年	1月	●																		
	2月	●																		
	3月	●																		
	4月	●																		
	5月																			
	6月																			
	7月																			
	8月																			
	9月																			
	10月																			
	11月																			
	12月	●																		
2018年	1月																			
	2月	●																		
	3月																			

2018年3月15日現在

家さん● 野鳥▲ (発生日、検体回収日に基づく)
(赤: 高病原性鳥インフルエンザ、青: 低病原性鳥インフルエンザ)

出典: OIE WAHID 他 ※野鳥の低病原性鳥インフルエンザについては、確認ができた台湾のみ記載

家きんの高病原性・低病原性鳥インフルエンザの発生状況(2017年以降)

2018年3月8日現在

《アフリカ》

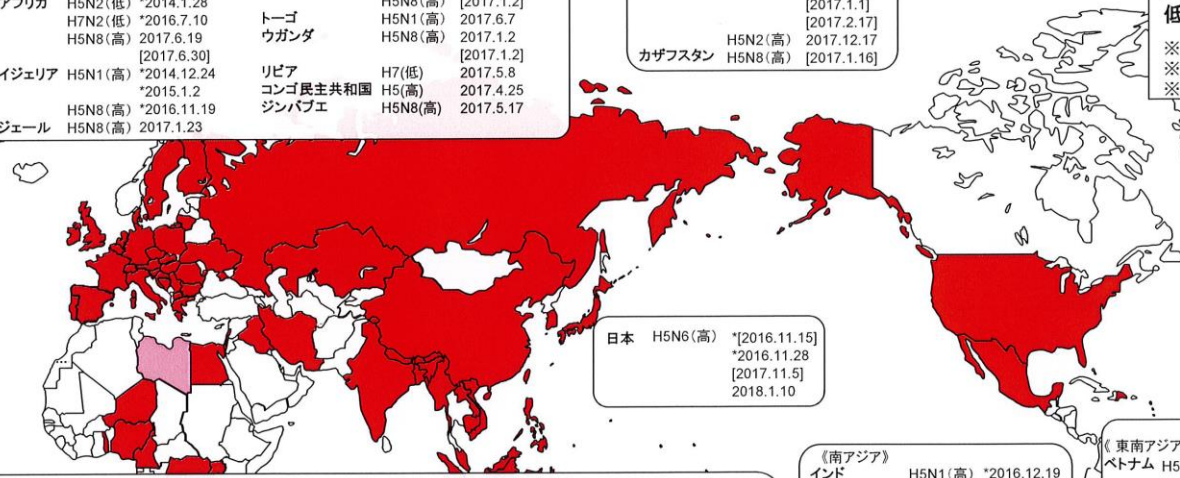
エジプト	H5N8(高) *2016.11.24]	カメルーン	H5N1(高) *2016.5.20
南アフリカ	H5N2(低) *2014.1.28	トーゴ	H5N8(高) [2017.1.2]
	H7N2(低) *2016.7.10	ウガンダ	H5N1(高) 2017.6.7
	H5N8(高) 2017.6.19		H5N8(高) 2017.1.2
	[2017.6.30]		[2017.1.2]
ナイジェリア	H5N1(高) *2014.12.24	リビア	H7(低) 2017.5.8
	*2015.1.2	コンゴ民主共和国	H5(高) 2017.4.25
	H5N8(高) *2016.11.19	ジンバブエ	H5N8(高) 2017.5.17
ニジェール	H5N8(高) 2017.1.23		

《ロシア・NIS諸国》

ロシア	H5N8(高) *2016.12.2
	[2017.1.1]
	[2017.2.17]
カザフスタン	H5N2(高) 2017.12.17
	H5N8(高) [2017.1.16]

高病原性発生地域 =
 低病原性発生地域 =

※1 地図上の配色は家きんについて
 ※2 ()は病原性
 ※3 高病原性・低病原性併発地域は高病原性と表記



日本 H5N6(高) *2016.11.15]
 *2016.11.28
 [2017.11.5]
 2018.1.10

《ヨーロッパ》

イタリア	H5N5(高) *2016.12.29]	ハンガリー	H5N8(高) *2016.11.1	ルーマニア	H5N8(高) *2016.11.23
	H5N8(高) [2017.1.3]	スロバキア	H5(高) *2016.12.24	デンマーク	H5N8(高) *2016.12.26]
	2017.1.20		H5N8(高) [2017.1.2]	ポーランド	H5N8(高) *2016.10.28
オランダ	H5N5(高) [2017.5.22]	チェコ	H5N8(高) 2017.1.4		H5N5(高) [2017.1.27]
	H5N2(低) 2017.10.11		[2017.1.4]	クロアチア	H5N8(高) *2016.10.30]
	H5N6(高) 2017.12.7		[2017.2.12]		*2016.12.27
フランス	H5N1(高) *2015.11.14	スロベニア	H5N5(高) [2017.1.1]	スイス	H5N5(高) 2017.3.8
	H5N2(低) *2015.11.18		H5N8(高) [2017.1.20]		H5N8(高) *2016.11.5]
	H5N3(低) *2015.12.6	アイルランド	H5N8(高) *2016.12.28]		H5N8(高) [2017.8.10]
	H5N8(高) *2016.11.17	マケドニア	H5N8(高) 2017.1.20	オーストリア	H5N8(高) *2016.11.7]
	*2016.11.25		H5(高) [2017.1.13]		*2016.11.9
	H5N1(低) *2016.12.6	ベルギー	H5N8(高) [2017.1.26]	フィンランド	H5N8(高) *2016.11.12
	H5N9(低) *2016.12.8		[2017.3.17]		[2017.4.8]
	H7(低) *2017.5.17		[2017.5.22]		[2017.5.26]
英国	H5N8(高) *2016.12.11	ドイツ	H5N8(高) *2016.11.7	ウクライナ	H5N8(高) [2017.1.1]
	[2017.3.3]		[2017.8.22]		2017.1.3
	2017.5.3		*2016.12.22	セルビア	H5N8(高) *2016.11.30
	[2017.7.26]				H5N5(高) [2017.1.20]
ポルトガル	H5N8(高) [2017.1.27]		H5N3(低) 2017.1.22	ギリシャ	H5N5(高) [2017.1.16]
スペイン	H5N8(高) [2017.1.3]		H5N5(高) [2017.1.23]		H5N6(高) 2017.2.6
	2017.2.18		[2017.10.18]	ルセナルク	H5N8(高) 2017.5.30
リトアニア	H5N8(高) [2017.2.27]		H5N8(高) 2017.11.20	キプロス	H5N8(高) [2017.9.20]
ブルガリア	H5N8(高) 2017.10.17		H5N2(低) *2016.12.19	ボスニア	H5N8(高) 2017.2.11
	2017.2.11		H5N6(高) [2018.1.4]	ヘルツェゴビナ	[2017.2.28]
	2018.3.2				
スウェーデン	H5N8(高) *2016.11.14]				
	*2016.11.21				

《南アジア》

インド	H5N1(高) *2016.12.19
	*2016.12.31
	2018.2.11
	H5N8(高) 2017.12.26
イラン	H5N8(高) *2016.11.14
	H5N1(高) 2017.1.15
ネパール	H5N1(高) 2017.2.17
	[2017.3.2]
	H5N8(高) 2017.3.1
アフガニスタン	H5(高) [2017.12.28]

《東南アジア》

ベトナム	H5N1(高) 2017.2.14	カンボジア	H5N1(高) 2017.1.25
	2017.7.4		H7N3(低) 2017.1.12
	2017.8.24	ミャンマー	H5N1(高) 2017.7.16
	H5N6(高) 2017.2.12	ハンガリア	H5(高) [2017.1.14]
	2017.9.23		H5N1(高) 2017.1.15
ラオス	H5N1(高) 2017.7.2		[2017.1.15]
フィリピン	H5N6(高) 2017.7.24	マレーシア	H5N1(高) 2017.2.28

《西アジア》

イスラエル	H5N8(高) *2016.11.9
イラク	H5N8(高) 2017.12.27

《東アジア》

中国	H5N1(高) *2014.9.12	韓国	H5N8(高) [2017.1.24]
	H5N6(高) *2014.8.23		H5N6(高) 2017.2.6
	2017.8.10		2017.11.17
	2018.2.22	台湾	H5N2(高) *2015.1.7
	H5N8(高) [2017.1.1]		H5N8(高) *2015.1.8
	H7N9(高) 2017.1.10		H5N2(低) *2015.1.12
	2017.3.19		H5N6(高) 2017.2.2
	2018.2.17	香港	H5N6(高) [2017.4.7]

《南北アメリカ》

米国	
テネシー州	H5N1(低) *2016.4.26
	H5N2(高) *2016.12.27]
アラバマ州	H7N8(高) *2016.1.11
ケンタッキー州	H7N8(低) *2016.1.16
ジョージア州	H5(低) *2016.7.2
ウィスコンシン州	H5(低) *2016.6.21
ミズーリ州	H7N1(低) 2018.2.26
メキシコ	H7N3(高) 2017.4.18
チリ	H7N6(低) *2016.12.26
ドミニカ共和国	H5N2(低) 2017.9.30

※1 赤字は更新点
 ※2 日付は発生日又は検体回収日に基づく

※3 []は野鳥における発生を示す
 ※4 本図は発生の有無を示したもので、その後の清浄性確認については記載していない
 ※5 +は初発が2016年以前であるが2017年以降も発生のあるものを示す
 出典:OIE WAHID等